※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０２４

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	現代の国語　（大修館書店）						
副教材等	『高校国語へのステップ』（東京書籍） 『新訂版　常用国語便覧』（浜島書店） 『入試頻出漢字＋現代文重要語彙　ＴＯＰ２５００　〈四訂版〉』（いいずな書店） 『新版三訂　ニューエイジ現代文　必修２』（第一学習社） 『現代文速読トレーニング１　評論・実用文・小説』（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本文を何度も読みかえし、同時に新たに知った語句を辞書で調べることで語彙力をつけながら、内容の理解ができるようにしましょう。授業では、読解をするためのポイントを実際に行い、内容をとらえたり、それに対する自分の意見や考えを文章化して整理したりすることを求めます。定期考査、課題の提出状況、小テストの成績、授業への取り組み、学習意欲等を総合的に判断して評価します。

2　学習の到達目標

・読書する習慣をもつとともに、新たな語句を身に着け、漢字・語彙の力を高める。
・国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。
・思考力や想像力を伸ばし、進んで表現することによって国語力の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。
・読解力，表現力，論理的思考力を育成し，豊かな言語感覚を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	1　明日をひらく ［教材］ 白紙 考える技術――考えさせない時代に抗して 伝える・伝え合う	a:話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b[話/聞]:話し言葉の特徴をふまえて、相手の理解が得られるように表現を工夫している。c:言葉やコミュニケーションに対して興味をもち、「現代の国語」の学習に意欲をもっている。	定期テスト・ワークシート	定期テスト・ワークシート	観察・ワークシート
	2　要点をつかむ ［教材］ ″文章の要点をつかむ 水の東西 「動」への変化″	a:比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b[読]:文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 c:具体と抽象や対比の関係をとらえることに意欲をもち、文章の要点をとらえようとしている。	定期テスト・ワークシート	定期テスト・ワークシート	観察・ワークシート
	3　的確に伝える ［教材］ ″設計図を最初に渡せ！ 伝わるように話す わかりやすく書く 社会への視点①―さまざまな規約	a:実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記のしかたなどを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]:自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。c:実用的な文章に興味をもち、その意図や表現上の工夫をとらえたり、わかりやすく書いたりする学習に積極的に取り組もうとしている。	定期テスト・ワークシート	定期テスト・ワークシート	観察・ワークシート
	4　意見を示す ［教材］ 発想を広げる 意見を書く プラスチック汚染からは逃げられない	a:文、話、文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解している。主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[書]:読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c:文章の構成や論理の展開を意識し、根拠を明確にして意見を書こうとしている。	定期テスト・ワークシート	定期テスト・ワークシート	観察・ワークシート
	5　論理をとらえる ［教材］ ″文章の論理をとらえる 動的平衡としての生物多様性 自然と人間の関係をとおして考える	a:主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。推論のしかたを理解し使っている。 b[読]:文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 c:論理的文章を読むことに興味をもち、論理関係を意識して読もうとしている。	定期テスト・ワークシート	定期テスト・ワークシート	観察・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	6 魅力的に伝える ［教材］ 「伝える」の先にあるもの 工夫して話す 魅力的な紹介文を書く 『家守綺譚』評	a：比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 b[話/聞]：、話し言葉の特徴をふまえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 c：紹介文を書く活動に興味をもち、読み手が共感できるように表現を工夫して書こうとしている。	定期テスト・ワークシート	定期テスト・ワークシート	観察・ワークシート
	7 資料を駆使する ［教材］ ″資料と文章の関係を読む 「安くておいしい国」の限界 インターネット時代の音楽産業 統計資料をもとに意見を書く	a：情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。 b[読]：目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている c：資料と文章の関係を読み取ることに興味をもち、的確意情報を読み取ろうとしている。	定期テスト・ワークシート	定期テスト・ワークシート	観察・ワークシート
	8 他者と交流する ［教材］ 他者を理解するということ 目的に沿った質問をする インタビューの醍醐味 状況に応じた通信文を書く パン屋の手紙	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b[書]：目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 c：目的に沿った質問をする学習に意欲的に取り組もうとしている。	定期テスト・ワークシート	定期テスト・ワークシート	観察・ワークシート
後期	9 情報を比較する ［教材］ ″文章を比較して読む 「美しさの発見」について（脳は美をどうとらえるか） 空気を読む 「個人」から「分人」へ	a：主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b[読]：目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 c：複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。	定期テスト・ワークシート	定期テスト・ワークシート	観察・ワークシート
	10 他者を動かす ［教材］ 説得力のある資料をつくる 企画書『となりのトトロ』 資料を用いて発表する どう伝えるか 社会への視点②―さまざまな広告	a：比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b[話/聞]：論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いのしかたや結論の出し方を工夫している。 c：討論に意欲的に参加し、自分の役割や論理の流れを意識しながら発言している。	定期テスト・ワークシート	定期テスト・ワークシート	観察・ワークシート
	11 主張を吟味する ［教材］ ″根拠を吟味して読む 贅沢を取り戻す 言葉についての新しい認識″ 文章を読み取って主張を書く 討論をする	a：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。 b[読]：目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	定期テスト・ワークシート	定期テスト・ワークシート	観察・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

		c:情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。			
	12 考えを発信する ［教材］ 〃主体的に読む 白 作業ロボットの悲劇 結論を出すために話し合う レポートを書く 問いを立てる	a:推論のしかたを理解し使っている。 b[読]:目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 c:必要な情報を読み取ったり、その情報を活用したりすることを意識しながら、文章を読もうとしている。	定期テスト・ワークシート	定期テスト・ワークシート	観察・ワークシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２５　）時間

・書くこと　…　（　３５　）時間

・読むこと　…　（　１５　）時間